

1 実践型訓練（情報伝達訓練）

○訓練の目的：「東京都島しょ保健所健康危機対処計画（感染症編）」に基づき、以下事項を目的に訓練を実施

- ①新興感染症発生時に関係機関が連携及び協力して対応できる体制の構築を図る。
- ②関係機関との情報共有の在り方について、訓練を通じて情報共有の方法について検討し、発生時に備える。
- ③新興感染症等発生時に保健所の役割を円滑に実行できるようにする。

○訓練実施日：令和7年10月23日

○訓練発生段階等想定：流行初期（厚生労働大臣公表後）

国内で発生した、原因不明の発熱及び呼吸器症状を呈する患者について、国が検体を遺伝子調査した結果、海外で発生が確認された新興感染症であると確認

場面設定は、対処計画の「保健所は、必要に応じて、島しょ地域の全町村に対し、国の動向や都の対応方針等について情報提供する」とした。

1 実践型訓練（情報伝達訓練）

○訓練内容：島しょ保健所と関係機関の情報送信・受信が適切に行われ、円滑に情報共有及びWEB会議の開催ができるか。（情報伝達訓練）

※事前調査で現状では共通して使えるのは電子メールとweb会議と確認

（具体的な内容）

- ・島しょ保健所から各関係機関に情報送信（メール）
 - （1回目）各機関の状況についてメール返信依頼
 - （2回目）WEB会議の実施（Teams）について通知
1回目の返信内容（各機関の状況）について共有
 - （3回目）WEB会議後、会議議事録を各関係機関へメール送信
- ・各関係機関からは島しょ保健所へ返信（メール）
総務課よりメール送信した（1回目）依頼に対する返信
- ・WEB会議の実施
- ・WEB会議議事録を全機関（訓練に参加できなかった機関も含め）へフィードバック

○訓練参加関係機関：健康危機管理対策協議会感染症部会（感染症ブロック協議会）の機関

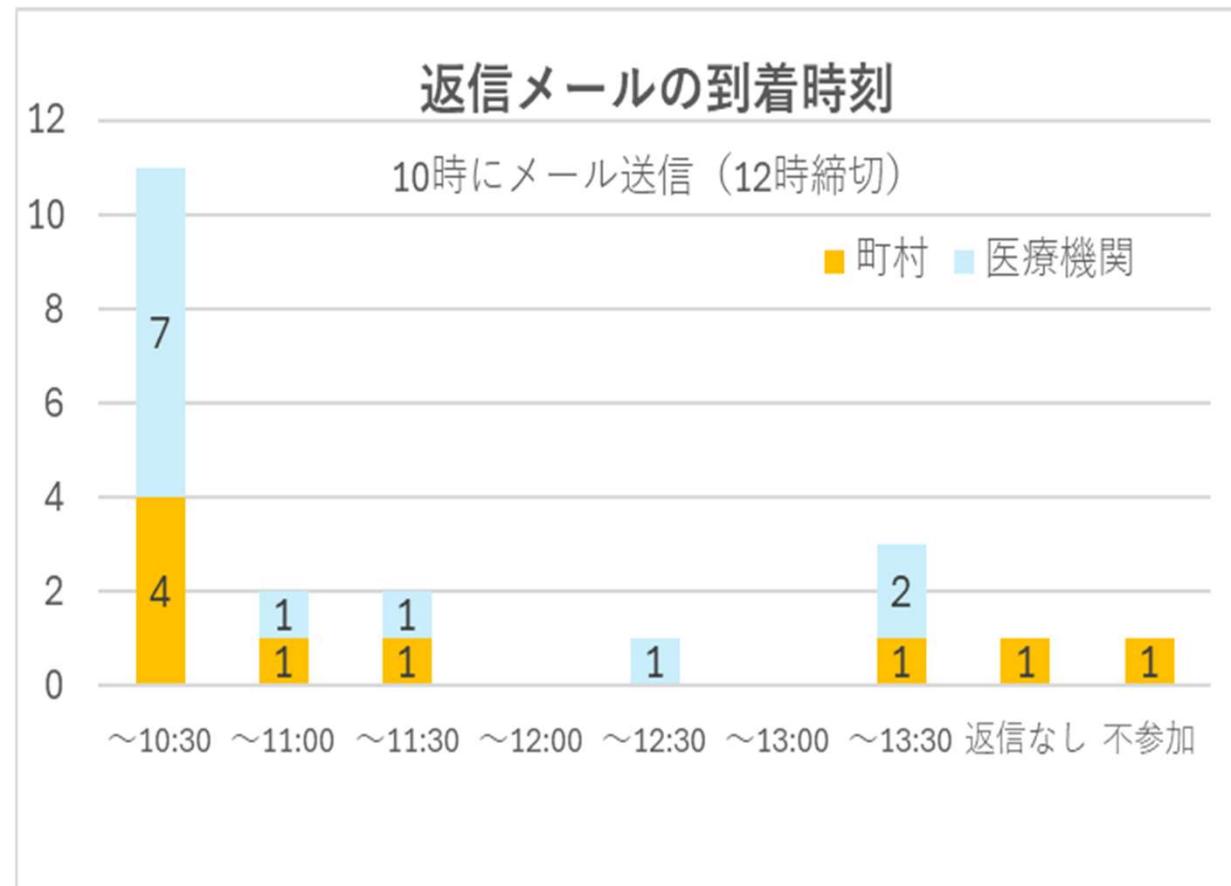
2 訓練実績

●総務課第1回メールに対する関係機関からの返信状況

令和7年10月23日（木曜日）10時00分～12時00分

メールによる情報伝達訓練 実施状況（単位：件）

返信到達までの所要時間	町村	医療機関	合計	割合
①【30分以内】	4	7	11	52%
②【30分超～1時間以内】	1	1	2	10%
③【1時間超～1時間30分以内】	1	1	2	10%
④【1時間30分超～2時間以内】	0	0	0	0%
⑤【2時間超～2時間30分以内】	0	1	1	5%
⑥【2時間30分超～3時間以内】	0	0	0	0%
⑦【3時間超～3時間30分以内】	1	2	3	14%
⑧【メール返信なし】	1	0	1	5%
⑨【訓練欠席】	1	0	1	5%
合計	9	12	21	100%



●WEB会議参加状況

所属	出席	代理出席	欠席	合計
町村	5	1	3	9
医療機関	8	3	1	12
合計	13	4	4	21

3 訓練結果について（アンケート結果）

※訓練実施後、参加者に対し、アンケートを実施。アンケート結果は以下のとおり。

○訓練当日のWEB会議について（ご感想・ご意見）

- ・特に問題はなかった。
- ・会議の内容の工夫が必要と感じた。
- ・1回目と2回目のメール及び午後4時からのWEB会議まで、時間が空いた。訓練として、もう少しコンパクトにまとめて欲しい。

○情報共有の在り方について（ご感想・ご意見）

- ・特に問題はなかった。
- ・各町村及び診療所宛にメールを送るのは少し手間ではないかと思う。掲示板のようなプラットホームに各町村がアクセスし、必要事項を記入する形で情報共有できると、（会議の）出欠確認も含め時短になるのではないか。
- ・訓練で使用したツール以外にも様々ツールがあるのでその時々で適したツールの活用について検討が必要

3 訓練結果について（アンケート結果）

○訓練全体について（ご感想・ご意見）

- ・今回は事前の連絡があり注意できたが、（実際起こった際に）突然のメールでは気が付かない場合がある。（実際に起こった際は）海外や国内情報等早期に注意情報をいただきたい。
- ・訓練シナリオを具体的にし、各フェーズを設け各機関の新型インフル等行動計画に基づく対応と報告等の情報共有が有れば良かった。
- ・新興感染症の公表があった場合の体制の確認が出来たことと、国・都・島しょ保健所や各町村・機関の状況を把握できる会議があるのは良いと感じた。各町村が今とるべき行動（感染症対策等）の指示が共有できると良いのではないでしょうか。

○次回の島しょ地域での新興感染症実践型訓練について（ご意見・ご要望）

- ・新型コロナウイルスの教訓もあるので、訓練シナリオを練り上げ、より実践に、各島ごとに実働も交えた訓練の実施
- ・実際に新興感染症が発生した場合の報告様式を活用した訓練の実施
- ・搬送が主体となる訓練の実施（東京消防庁、自衛隊、海上保安庁からもリエゾン参加）